



釧路あすなるクラブ

平成19年度 9月例会 第四部会

『釧路で暮らそう第2の人生(移住)、充実応援』

釧路の魅力再発見と、さらなる魅力の創造

人材誘致と移住促進で地域に活力を！！

NHKのビデオ放送

北海道クローズアップ

「地域活性化を担う移住者たち」

2007年8月3日放送

釧路あすなろクラブ

講演テーマ

釧路大好き人間の“ひとりごと”

あん どう とも おき

講師 安藤朝興 氏

9月例会

『第4部会』

部会テーマ

『釧路で暮らそう第2の人生(移

釧路の魅力再発見、応援する

魅力の創造

講演者ご紹介

- 講 師 安藤朝興氏
- 生年月日 昭和17年10月9日 (65歳)
- 出身地 宮城県
- 最終職歴 NHK
- 来釧時期 平成15年7月より
- 要 職 釧路市連合町内会 理事
大町6丁目州崎会 副会長
くしろ橋南西ゆめこい倶楽部 役

移住した人の体験談

平成19年8月30日 取材

ご氏名 キタ ムラ コウ ジ
北村 昊 司 氏

ご出身地 東京都
最終勤務地 (株)トウコウ 東京都練馬区
現在のお住まい 標茶町塘路



◎北村さんはどこのご出身ですか？

A: 東京都の出身です。両国生まれで、ここに来る前は練馬に住んでいました。

◎ここに移住するきっかけは何だったのでしょうか？

A: 12～3年前に購入した現在の土地があった事。それと定年になり、さてどこに住もうかと考えたとき、妻が釧路市の出身という事もありましたが一番の大きな理由は海の近くでなく、川の近くでなく(災害の心配)と考えると湖の近くと、温泉がある、近くにゴルフ場がある、などの理由から現在の住んでいる所が最高だったのです。

◎管内に移住してきてる人たちは何人位ご存知ですか？

A: 私が知っているかぎりでは5、6人の方達が移住されて生活されてますよ。横浜から来ています上野さんと中山さんご夫婦、栃木県から来ています方もいらっしゃいますよ。

◎北村さんは現在おいくつですか？また奥様はおいくつでしょうか？

A: 私は現在66歳です。妻は63歳です。

◎定年時の勤務先はどこでしたでしょうか？

A: 東京の(株)トウコウという会社です。

◎こちらに来る事で、仕事の心配は無かったのでしょうか？

A: 仕事が無くなったからこちらに来たのです。また、こちらではまったく仕事はする気持ちはありませんでしたよ。働き尽くめでしたから・・・

◎こちらと(管内)いうと気候が大変厳しいところなのですが、そのへんは気になりませんでしたか？

A: 温かい所に住みたければ沖縄に住めばいい。ここは寒くて当たり前、冬は温泉も暖房もあり、夏はエアコンが要らない。まったく自然のままの生活ですよ。それとここは四季がはっきりしていて素晴らしいですよ。

◎冬に吹雪になって道路が封鎖される事があると思いますが不安を感じませんか？

A: 吹雪になったら出なきゃいいんですよ。冷蔵庫があるし、自然の冷蔵庫もあるから食料の心配はまったくありません。むしろ楽しいですよ。

◎交通の便はどうですか？

A: 東京にいたときは、どこに行くにもお金がかかります。ここは道路事情が良いですから、多少燃料代はかかりますけど、私も妻も免許を持っていますから自由にどこでも行けます。

◎普段の生活状況はどうですか？

A: 生活のやりかたもあるでしょうが、東京にいるときよりはずっと楽ですよ。ただ赤いネオン、青いネオンが無いとダメな人はこちらの生活はきついかも知れません。



◎ここに住んでいて病気になったら不安ではありませんか？

A: 医者は釧路にも標茶にもおります。車で約30分位でどちらでも行けます。仮に救急車で運ばれるような病気になったら、それはそれで仕方ないですよ。むしろ東京の方が移送時間はかかりますよ。ここはどちらも3、40分で着きますから。医療の技術的な差は多少あるでしょうが、それよりも、まず病気の予防に努めることがもっとも大事なことです。

◎ご息はいらっしゃいますか？また、お孫さんは？

A: いますよ。夏休みで来ていて、昨日帰ったばかりです。



◎こちらにいらして一番大変な事はなんでしょう？

A: 先ほども言いましたけど、息子や孫達に来るにも、また私たちが息子たちの所へ行き来するにも航空運賃が非常に高い事です。さらにお盆や正月は、もっと高くなりますので、この事が一番大変かな・・・移住を考えている人たちの最大の悩みではないでしょうか。官の人たちや民(航空会社等)の人たち、民間団体の人たちが積極的にこの辺を解決して頂ければもっともっと移住者が増えるのでないでしょうか。

◎移住者への取り組みがやっと釧路でも始まりましたが？

A: 遅すぎるのではないのでしょうか。



◎最後に移住を進める自治体や民間所団体に言う事はありませんか？

A: 移住を薦める上で、自分たちが住んでる所をもっともっと研究し、地元の色で物を見るのではなく、見方を変えて、もっと素晴らしい所なんだと自分たちが自信を持ってくれば、移住してくる人たちは不安が先に来て、踏み込めないと思います。官民が一体になって対応して頂けることをお願いして終わりに致します。

北村様長い間お付き合い頂きまして誠にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

なぜ、移住・交流居住促進なのか

財政逼迫・少子高齢化時代の
地域振興策の一つとして位置付け。

住民にとって住み良い街の在り方を考え、
より良い街作りのきっかけになる。

* 交流居住とは、都会と地方を行ったり来たりする。そんな生活の事です。

【従来型の地域振興策との違い】

- ※ 官主導(計画に基づく予算執行前提)では無く、民間企業主体の事業展開が必要になります。
- ※ 余剰資源(公共インフラ、民間資源、etc)の有効活用できます。

《移住・交流居住と観光の違い》

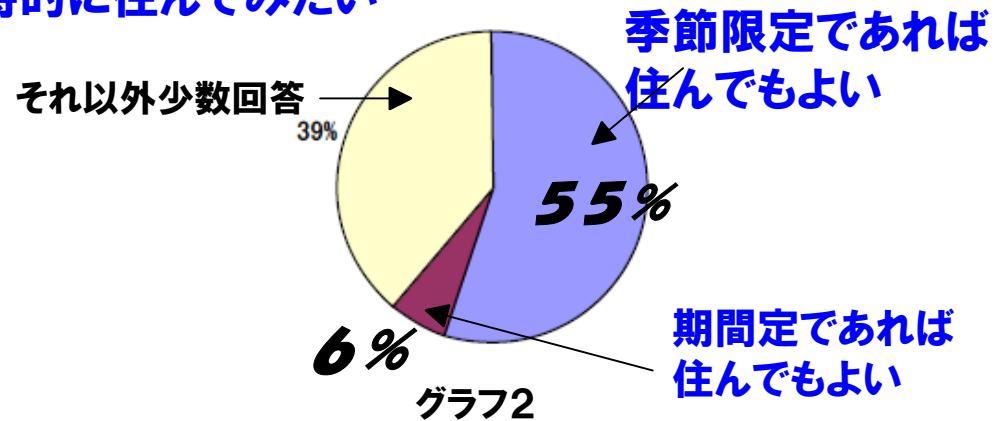
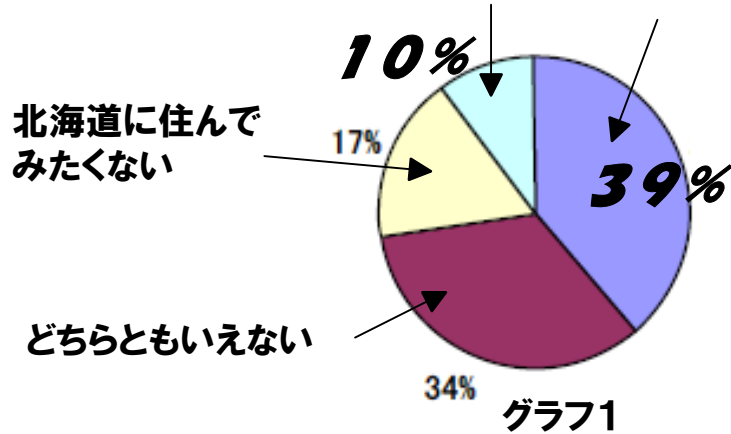
- ※ 生活者としての消費行動が有ります。＜経済波及効果大きい＞
- ※ 地域の人との交流が発生します。＜人材移入による賑わい＞

移住に対する意識調査

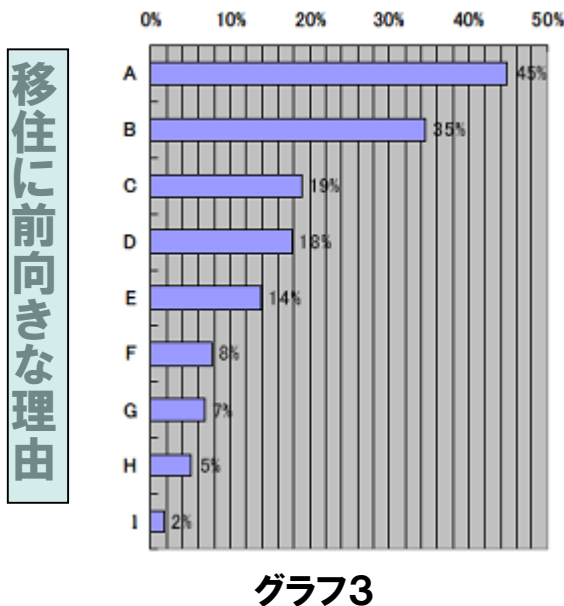
H17.3 に道が行った首都圏 1万人 アンケートより

季節・期間を限定を含めると、8割が北海道への移住に前向！！

北海道に住んでみたい 北海道に一時的に住んでみたい



グラフ1のどちらともいえない、北海道に住んでみたく無い人達の内・・・



- A) 「自然環境がよい」(45%)
- B) 「食べ物が豊富」(35%)
- C) 「アウトドアやウィンタースポーツが楽しめる」(19%)
- D) 「広い住宅に住める」(18%)
- E) 「安心できる野菜などを気軽に自給できる」(14%)
- F) 「生活費(物価)が安い」(8%)
- G) 「北海道に友人・知人がいる」(7%)
- H) 「北海道に親戚・身内がいる」(5%)
- I) 「その他」(2%)

なぜ現実の移住は少数なのか？

※ 観光で訪れ「住んでみたい」と思っても、即「移住」に結び付くことは希。
(観光 と 生活[移住]は違う。)

- ・ 『移住』には、それまでの社会や隣人との関係を裁ち切る側面が有る。
- ・ 財産処理をどうするか？など、現実的な問題も有る。
- ・ 大前提として、家族(特に配偶者)の同意が必要。

※ **新しい土地での生活には大きな不安が有る。**

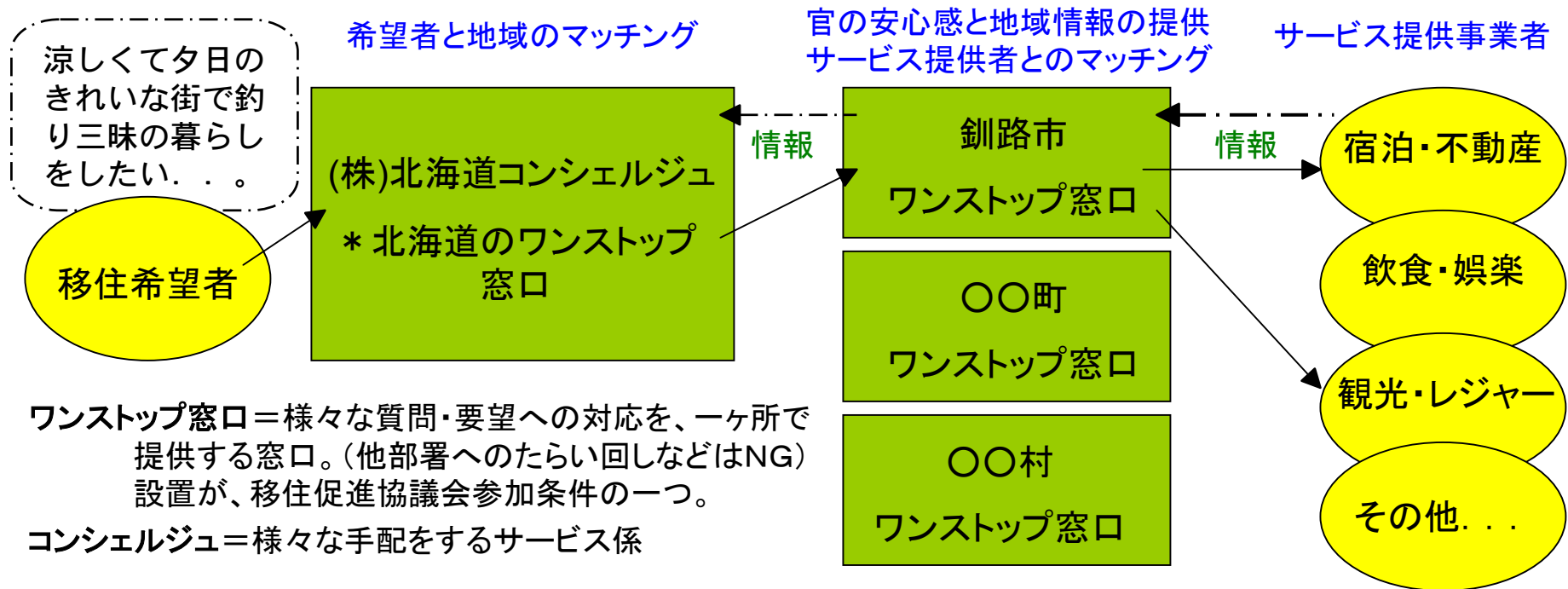
**そこで、全道的な取り組みとして. . .
「移住への関心」と「躊躇させる不安」のギャップを埋める
施策として『おためし移住』『ちょっと暮らし』が、進
められています。**

* 試食・試着を経験する事で、食物や衣服を買う決断をするのと同様に、
「好き」と「住む」の間に『試住』による経験を提供する。

* 『移住(定住)』と気軽な『交流居住』用意する事で、期間限定や季節限定
ニーズも広い移住の間口を広げる。

移住・交流居住促進施策の現状

民官協働の全道的な移住・交流居住受入の枠組み...



関連団体・企業

*北海道移住促進協議会 H17.9～ (102市町村が参加 H19.7現在)

移住に意欲的な自治体が参加。連携・協力し移住促進と移住ビジネス創出を図る。

*「住んでみたい北海道」推進会議 H18.4～

全国初のケースとして、北海道移住促進協議会と民間企業が協働して設立した任意団体。
実質的な成果をあげるべく、首都圏プロモーションなど積極的に事業を展開中。

* (株)北海道コンシェルジュ H18.8～

北海道への移住や短～長期滞在希望者に対する、北海道の『総合ワンストップ窓口』
希望者のニーズに合わせ、希望者と自治体ワンストップ窓口の橋渡し(マッチング)を担当。

釧路市の現状

- * 平成17年、北海道の動きに呼応する形で、釧路市としての検討を開始。
- * 企画財政部企画課を担当とした『ワンストップ窓口』を正式に設け、平成18年より本格的な取り組みを始めた。
 - ・ 北海道移住促進協議会、「住んでみたい北海道」推進会議 等に参加。
 - ・ 釧路市HPで／北海道HP からの広報
 - ・ 釧路版「ちょっと暮らし」メニューの作成
 - ・ 北海道コンシェルジュなど、関連団体を通しての広報
- * 北海道ならびに関連団体と歩調を合わせ、完全移住(定住)に拘らず、短期～長期のお試し移住として「ちょっと暮らし」を推進中。
- * 『ちょっと暮らし』メニュー・受入体制の充実に向け、各種民間企業・団体と協働を進めつつ有るところ...

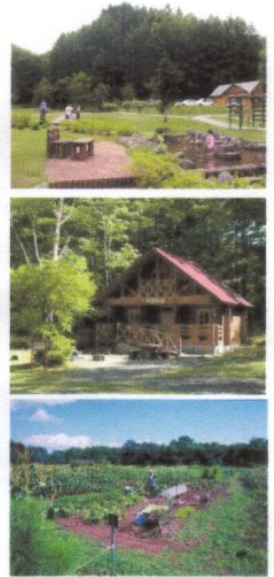
また、広域市町村事務組合(8市町村)の主導で「釧路市に滞在し周辺圏域を巡って貰う」事を目的とした取り組みを準備中。... など、移住・交流居住に対する広範なプロジェクトも進みつつある。

釧路市HP「おためし暮らし」



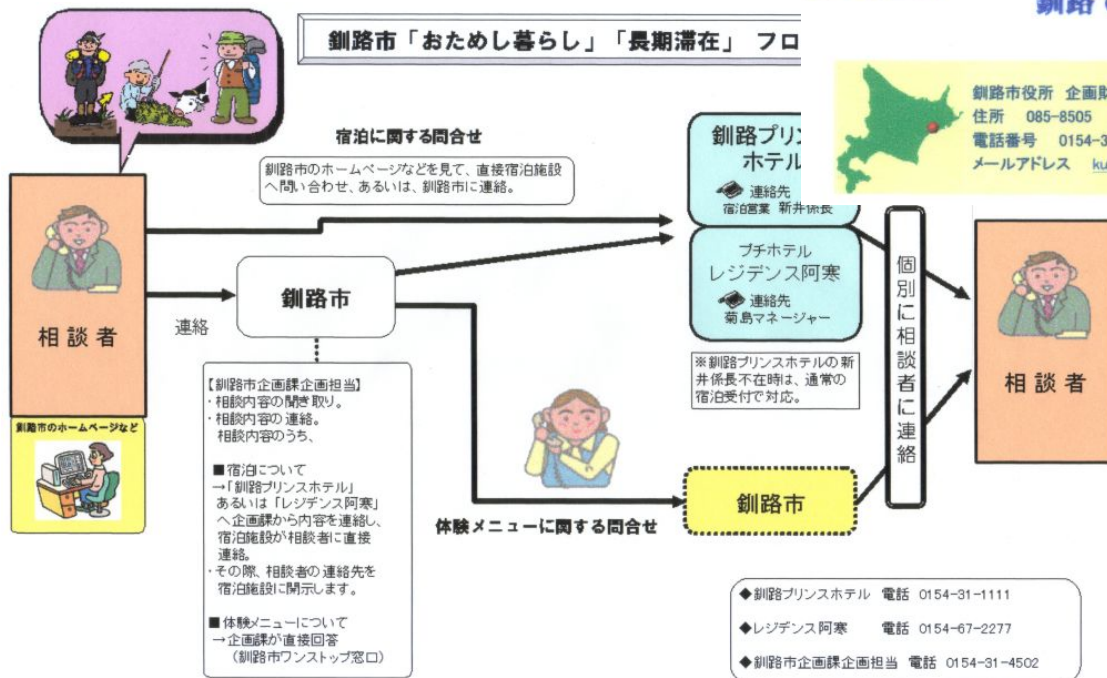
- TOPページ
- 「釧路」という異国
- 住みたい 試したい
- 安心して暮らす
- U(I・J)ターン 仕事
- 市民活動 趣味・娯楽
- 釧路マップ
- 釧路の天気
- 現在の釧路 (ライブカメラ)
- 釧路湿原 (ライブカメラ)
- 釧路なんでもリンク

ふたつの国立公園に抱かれ
充実した都市機能と 大自然を合わせ持った街



釧路で「おためし暮らし」
してみませんか...

総務省 交流
居住のススメ
に進む



釧路市役所 企画財政部 企画課 企画担当
住所 085-8505 北海道釧路市黒金町7丁目5番地
電話番号 0154-31-4502 FAX番号 0154-22-4473
メールアドレス ku120501@city.kushiro.hokkaido.jp

お試し暮らし・移住・長期滞在
【ワンストップ窓口】
(担当) 池田・大澤



おためし暮らし受入フロー図

体験移住『ちょっと暮らし』の実績

(ワンストップ窓口を經由した件数)

《北海道》

H17年度 20人
H18年度 417人(206件) 延べ 8,471日
H19年6月まで 126人 (63件) 延べ 2,863日
H19年7月以降 289人(125件) 延べ 7,337日
H18.4~H19.6 累計
543人(272件) 延べ11,340日

* 参考...

H18年度の移住実績 273人(123件)

《釧路市》

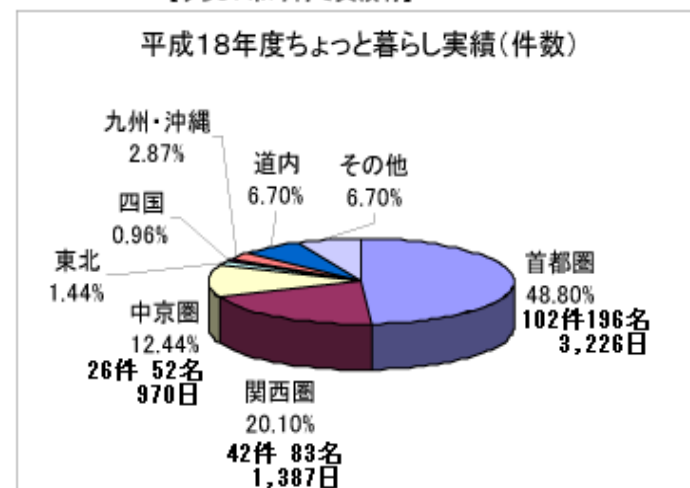
H18年度 0人 問合せ20件程度

注、H18年度が、釧路市の全道的な枠組みに参加した活動の初年度。

○平成18年度の実績

合計 209件 417名 8,471日

※ 登録市町村(100市町村)における実績
【うち37市町村で実績有】



1人平均

約20日の滞在

- 道庁からの補助金はゼロ。
- 周知はパブリシティが中心(ペイパブ無し)

移住のタイプ



短期滞在
型



長期滞在
型



ほぼ定住
型



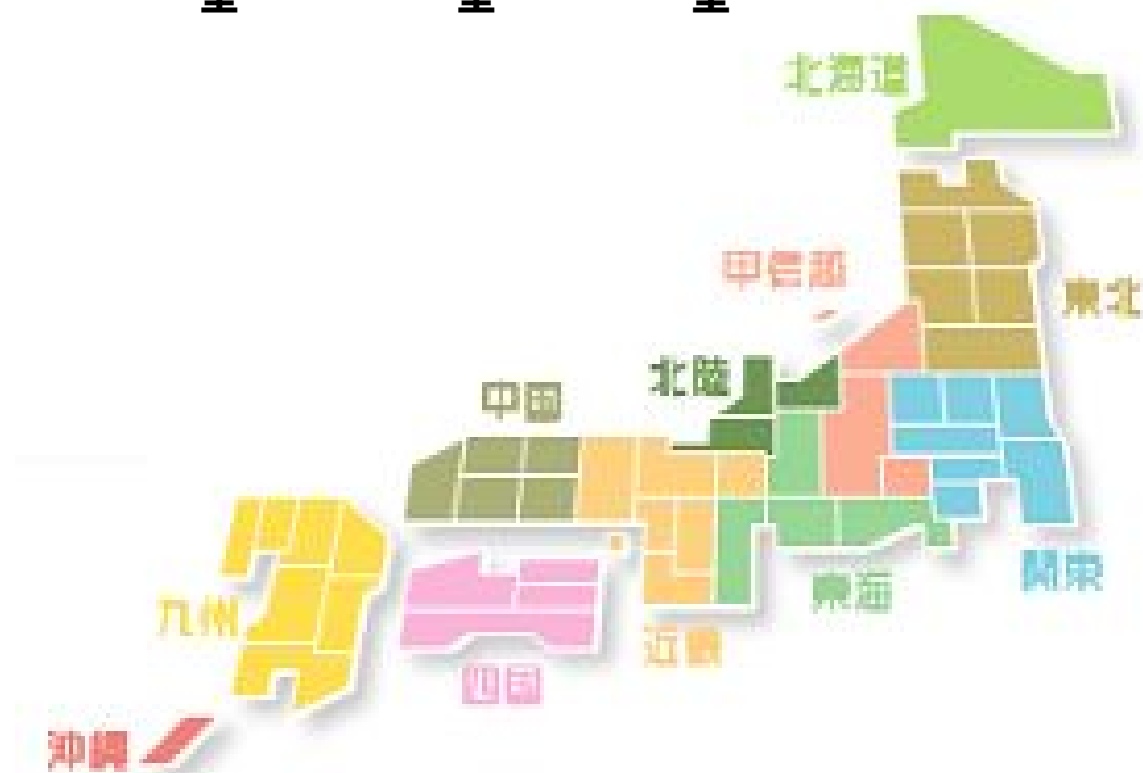
往来
型



研修型



Uターン型



移住の経済波及効果(推計)

北海道知事政策部による試算 2005年3月

※2007年～2009年に年間1,000(計3,000世帯)の高齢無職者世帯(夫婦)が60歳で移住し、その後の生涯を北海道で暮らした場合の試算。

■ 生涯の経済波及効果は

約5,700億円が見込まれる

※社会保障費など公的負担(国道市町村合計)約1,200億円含む

内訳:個人消費による波及効果 3,500億円

社会保障費による波及効果 2,200億円

* 移住世帯の消費による波及効果は公的機関の社会保障費支出を上回る!

<参考> 当初の3年間だけの経済波及効果に限っても

約800億円が見込まれる

※社会保障費など公的負担(国道市町村合計)約55億円含む

当部会は

《受入窓口の積極的推進》

を提言いたします。

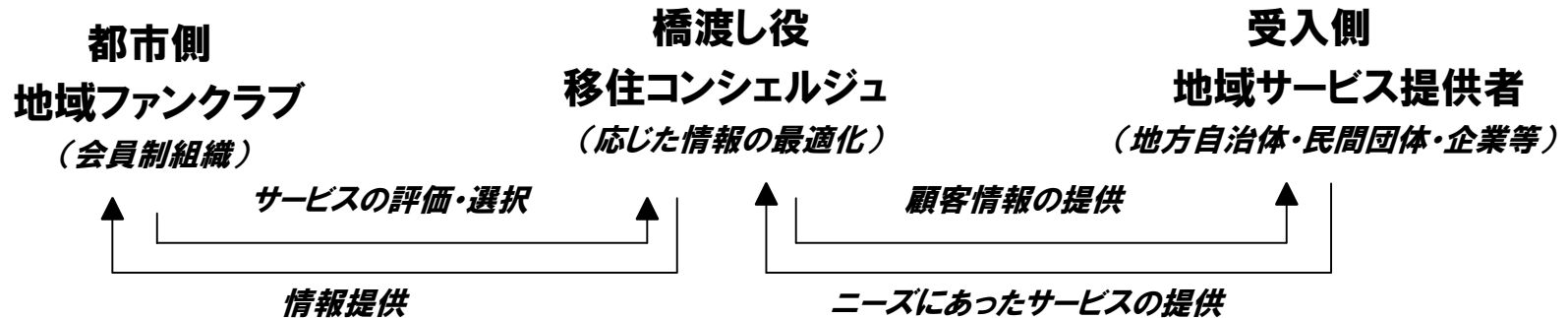
**移住の希望者に対して
受入窓口の積極的な推進を！！**

情報の提供窓口

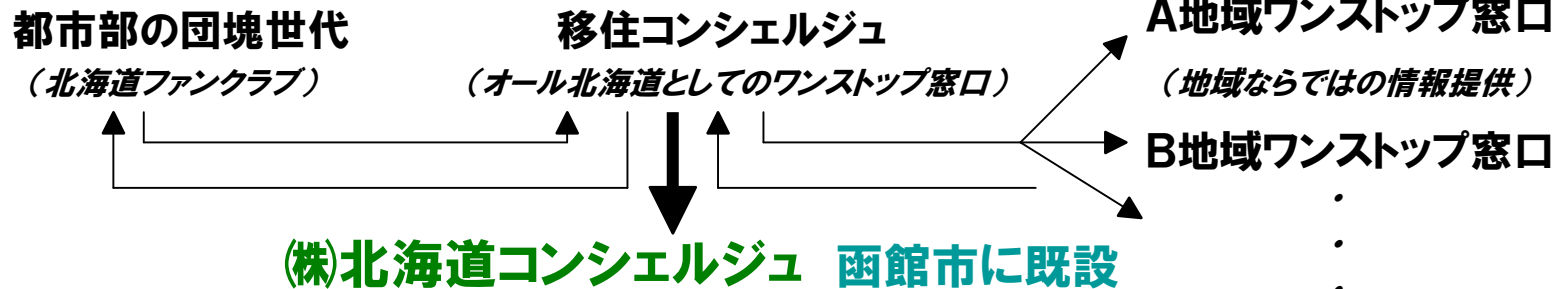
現状分析

現在国では「総務省自治行政局」、北海道では「知事政策部」が中心となり移住対策を取り組んでおります。

【総務省】自治行政局



【北海道】知事政策部



では**釧路市**としての今後の取り組みは？

☆釧路市に**ワンストップ窓口**の機能強化

移住は「住む・暮らす」という視点に立って、住宅、医療・福祉、地域交通、就業、観光など幅広い分野に及ぶ事から、庁内の関係部署との連携を蜜にし、ワンストップで対応できる総合窓口を設置する。

☆管内各市町村に**ワンストップ窓口**の設置推進

各市町村は、各市町村の地域情報やサービス事業の情報、他の地域に無い独自性の情報等を提供するため、ワンストップ窓口を設置する。また釧路市に情報を集約化して、お互いの情報を共有化し、移住に対しての価値を創造する。

☆釧路に**地域コンシェルジュ**の設置推進

(仮称 釧路コンシェルジュ株式会社)

先の伊達市のビデオでも紹介されてましたが、移住に対しての情報の発信元は、あくまでも民間ベースでの情報提供が一番効果的であり、即実践的な、タイムリーな情報が発信できる。(官が発信できない情報を主に発信する)

移住者が“移住”を考えた時に思うギモン？

Q1 釧路市ってどんなところですか？

Q2 冬は雪が少ないと聞きますが冬の生活はどうですか？

Q3 生活していく上での便利さはいかがですか？

Q4 生活面での近隣住民との関わりについて教えてください？

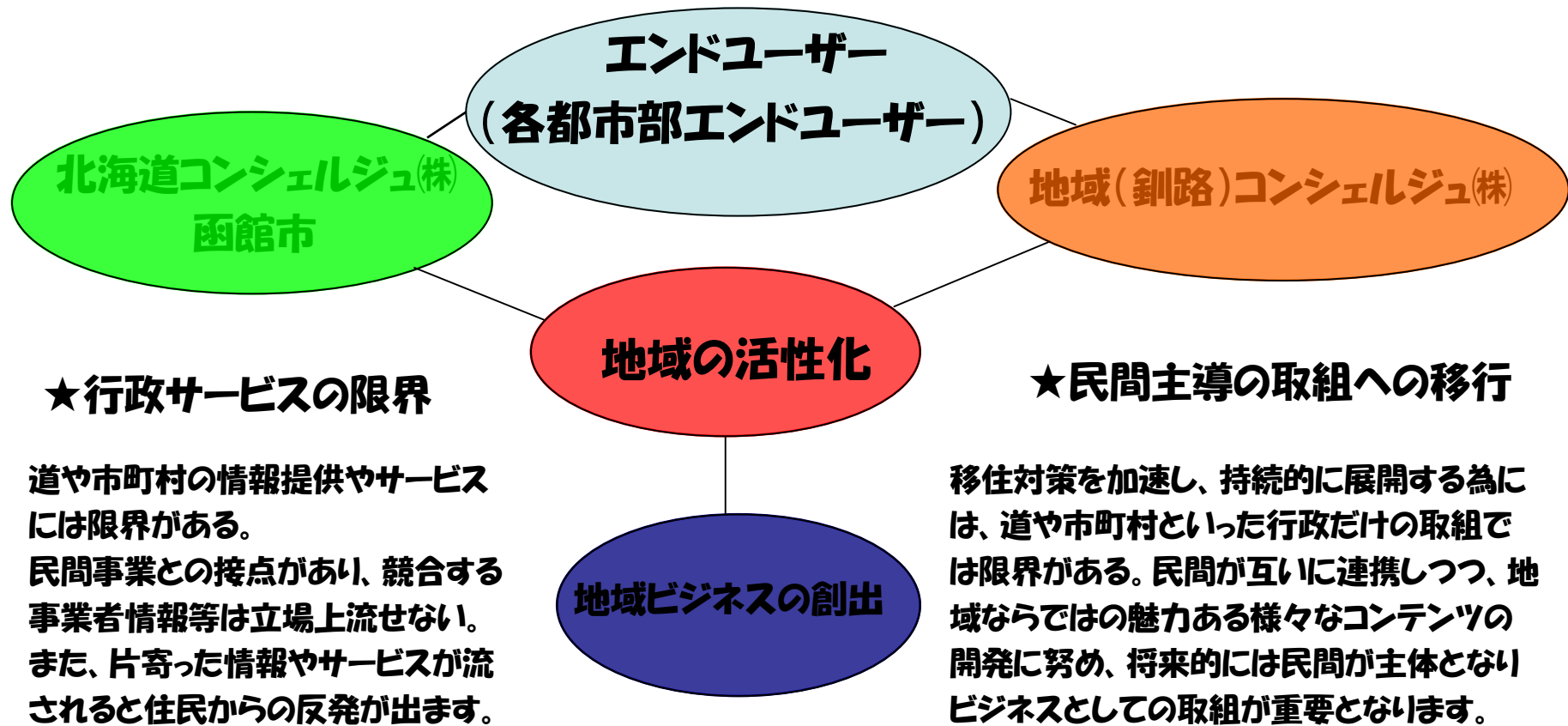
Q5 仕事を紹介してもらえる窓口はありますか？

Q6 住宅、宅地情報を教えてください？

Q7 転入後の補助制度があれば教えてください？

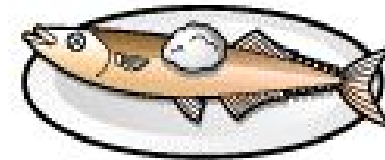


民間主導でつくる 「地域コンシェルジュ(株)」がお答えします。



移住を予定している方「釧路市」 たちに対して自慢出来る「釧路市」

- ・国立公園が同じ地域に2つある
- ・道路事情が良い
- ・居住経費が東京、大阪等都市圏に比べると大幅に安い
- ・食べ物が新鮮で美味しい
- ・雪が少なく、日照時間が長い
- ・温泉がすぐそばにたくさんある



・ゴルフ場が近くにある



・人柄が温かい



・医療が整っている

・夏は涼しくて快適である



・飛行場が街に近い



移住者に対する具体的な**応援**



○ふるさとチケットの発給

完全移住者に対して家族を呼んだり、家族のもとへ行く為の補助を行う。

(1シーズン2万円まで、若しくは各航空会社に協力を頂き、故郷割引を行ってもらう)

○定住促進団地の整備(温泉利用権つき)

○農業体験の実施(学んでお手伝い)



○移住者の人達によるキャリアバンク及びシンクタンクの設立

○宅建協会の協力を得て、住宅・宅地情報等を提供する。(住まいの確保)

○医療全般に対しての情報発信



○定年後の税金対策情報の提供

○資産に対する対策及び相談窓口の設置(ファイナンスサービス)

○地域の文化の紹介及び交流推進

Etc...